

マifestaに参加

8月27日(土)大阪府立大手前高等学校でマifestaが開催されました。本校からは数学分野の「 n ナッチ数列の隣接2項間の比の極限」について研究した理数科3年生2名が参加しました。8月18日に参加した第24回中国・四国・九州地区 理数科高等学校課題研究発表大会に続いて今月2回目の発表会です。十分な練習時間が確保できなかったため、行きの新幹線の中でも2人で練習を行っていました。

今回は発表者と聴衆の距離が近いため、アイコンタクトを意識して発表を行いました。発表後に多くの質問を受けました。大学の先生からは専門的な内容(証明した内容の細部)を聞かれ、他校の高校生からは証明の経緯や「逆は成り立つのか」といった内容が聞かれました。大学の先生からは証明のアイデアが面白いとのコメントを頂きました。

数学班の発表会はこれで終わりになります。今後はiC理数探究IIの授業で結果を論文にまとめていく予定です。



【生徒の感想】

・大学の先生に証明の方法を詳しく聞いてもらえて嬉しかった。今まで証明の部分は誰も質問してくれなかったのが、理解してくれる人が現れたと思って嬉しかった。自分の研究を一人でも多くの人に知ってもらえる経験ができてよかった。昨年の冬にこの証明ができたときの自分の喜びを共有してくれる人に出会えてよかった。

・集客する力が大事だと感じた。ポスター発表形式なので、まず興味を持ってもらわないと足を止めてもらえないし、発表を聞いてもらえない。発表内容だけでなく、発表テーマや人を引き付ける工夫が必要だと実感した。